



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学産業株式会社

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,589	4.9	1,869	59.5	2,016	53.9	1,392	48.0
28年3月期第3四半期	13,914	△4.7	1,172	△17.2	1,310	△17.3	940	△6.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,752百万円 (220.7%) 28年3月期第3四半期 546百万円 (△68.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	70.46	—
28年3月期第3四半期	47.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	36,315	30,392	83.7	1,538.32
28年3月期	34,283	29,035	84.7	1,469.64

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 30,392百万円 28年3月期 29,035百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	18,730	1.1	2,390	45.6	2,540	40.6	1,710	1.4	86.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	20,680,000 株	28年3月期	20,680,000 株
29年3月期3Q	922,910 株	28年3月期	922,765 株
29年3月期3Q	19,757,163 株	28年3月期3Q	19,904,969 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）におけるわが国経済は、実質経済成長率に大きなウェイトを占める個人消費が低調に推移し、設備投資も日銀によるマイナス金利導入により増加が期待されたものの、先行きの成長への期待を持ちにくいことから伸び悩む等、足踏み状態が続いていましたが、米国の大統領選挙後、円安、株高に転じたことから、輸出を取り巻く環境にも幾分改善の兆しが見られました。しかしながら、中国経済も依然として構造的な調整が続き、さらに、欧州経済も英国のEU離脱の影響を受け、さらに、米国新政権発足後の政策の不確実性も懸念され、景気の先行きは一層不透明なものとなっております。

このような状況のもと、当社グループは、薬品・建材事業ともに新製品や新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大、新規ユーザーの開拓、価格競争力を増すための低コスト体質強化に引き続いて取り組んでまいりました。同時に、海外（タイ）子会社においては主力ユーザーの事業撤退に直面したネクサス・エレケミック社の解散、清算に向けての対応、サイアム・エヌケーエス社における車載用関連製品等の安定生産、増産体制の確立への対応、国内においては福島第一工場における二次電池用正極材受託加工の安定供給、増産体制の確立等の具体的課題への対応に尽力してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、前年同四半期比675百万円4.9%増の14,589百万円、営業利益が前年同四半期比697百万円59.5%増の1,869百万円、経常利益が前年同四半期比706百万円53.9%増の2,016百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同四半期比451百万円48.0%増の1,392百万円となりました。

なお、ネクサス・エレケミック社は、既に平成28年7月4日に開示しておりますように、同日の取締役会で解散、清算を決議し、清算に向けて手続きを進めておりましたが、同年12月を持ちまして操業を停止し、法的な手続きを開始しました。その清算による連結業績への影響は、既に固定資産の減損、要員の削減等、前期、前々期にマイナス要素を処理していることから、軽微なものと考えております。

セグメントの業績は、次のとおりとなります。

## [薬品事業]

主力の薬品事業は、国内においては、納入先の複数購買化、生産拠点の海外シフトおよび中国経済減速の影響等により販売数量が伸び悩みましたが、本格稼働となった二次電池用正極材受託加工の売上増加、海外においては、サイアム・エヌケーエス社における更なる新製品である車載用関連製品2品目が実績化されたことから、売上高は前年同四半期比546百万円4.7%増の12,127百万円となりました。

利益面では、国内における二次電池用正極材受託加工の利益増加等に加え、海外においても、ネクサス・エレケミック社の営業損失が、前期に行った減損処理およびリストラ対応等により縮小する一方、サイアム・エヌケーエス社の車載用関連製品2品目の実績化が寄与し、海外子会社全体で営業利益がプラスに転じたこともあり、薬品事業全体の営業利益は前年同四半期比685百万円77.7%増の1,566百万円と大幅に増加しました。

## [建材事業]

消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響で低調に推移していた新設住宅着工戸数は、幾分持ち直しの兆しが見えたものの、本格的な回復までには至らず、住宅建材関係において主力製品である防火通気見切り縁が減少しましたが、かねてより準備を進めてきた新製品が実績化されたことにより、売上高は前年同四半期比128百万円5.5%増の2,461百万円となり、営業利益も前年同四半期比66百万円10.6%増の695百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、棚卸資産が減少したものの、売上債権、現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末比1,323百万円増の23,625百万円となりました。一方、固定資産は、二次電池用正極材受託加工の更なる増産体制構築のため建設仮勘定が増加しましたが、既存設備の減価償却が進んだことにより有形固定資産が前連結会計年度末比48百万円減の5,569百万円と減少したものの、投資その他の資産の投資有価証券が株価の上昇により増加したことにより、前連結会計年度末比707百万円増の12,690百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2,031百万円増の36,315百万円となりました。一方、負債は、流動負債が前連結会計年度末比427百万円増の4,776百万円となり、固定負債が前連結会計年度末比246百万円増の1,145百万円となったため、全体で前連結会計年度末比674百万円増の5,922百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比1,356百万円増の30,392百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.7%から83.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移しているため、平成28年5月13日公表の予想から変更いたしておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,151,732	13,867,243
受取手形及び売掛金	5,948,717	6,612,822
商品及び製品	963,064	838,917
仕掛品	975,539	1,011,941
原材料及び貯蔵品	1,038,075	1,070,170
繰延税金資産	148,613	148,386
その他	77,244	77,436
貸倒引当金	△1,640	△1,840
流動資産合計	22,301,348	23,625,077
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,846,267	1,666,583
その他(純額)	3,771,467	3,902,465
有形固定資産合計	5,617,734	5,569,048
無形固定資産		
	49,257	51,929
投資その他の資産		
投資有価証券	3,027,771	3,746,256
繰延税金資産	203	706
その他	3,288,895	3,323,654
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	6,315,300	7,069,047
固定資産合計	11,982,292	12,690,025
資産合計	34,283,641	36,315,103
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,102,720	2,580,311
短期借入金	566,400	752,400
未払法人税等	496,046	172,790
賞与引当金	325,000	198,799
役員賞与引当金	25,000	22,500
資産除去引当金	33,000	—
その他	800,506	1,049,870
流動負債合計	4,348,674	4,776,671
固定負債		
繰延税金負債	385,462	657,912
環境対策引当金	9,532	9,532
退職給付に係る負債	314,797	296,643
資産除去債務	129,746	131,749
その他	59,475	49,836
固定負債合計	899,013	1,145,673
負債合計	5,247,687	5,922,344

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	613,767	613,767
利益剰余金	26,965,062	27,962,068
自己株式	△461,547	△461,659
株主資本合計	28,151,281	29,148,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	719,259	1,287,548
為替換算調整勘定	300,907	73,779
退職給付に係る調整累計額	△135,496	△116,746
その他の包括利益累計額合計	884,671	1,244,582
純資産合計	29,035,953	30,392,758
負債純資産合計	34,283,641	36,315,103

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	13,914,491	14,589,561
売上原価	10,938,082	10,834,361
売上総利益	2,976,409	3,755,200
販売費及び一般管理費	1,804,022	1,885,640
営業利益	1,172,387	1,869,559
営業外収益		
受取利息	17,479	15,903
受取配当金	65,195	68,568
不動産賃貸料	42,836	42,892
その他	55,989	54,558
営業外収益合計	181,501	181,923
営業外費用		
支払利息	8,561	9,053
売上割引	8,200	6,007
賃貸収入原価	25,354	18,931
その他	1,324	517
営業外費用合計	43,440	34,508
経常利益	1,310,447	2,016,974
特別利益		
固定資産売却益	32	292
投資有価証券売却益	67,038	0
受取補償金	181,865	6,104
特別利益合計	248,936	6,396
特別損失		
固定資産除却損	13,358	43,876
減損損失	61,355	—
特別退職金	18,039	33,974
特別損失合計	92,752	77,851
税金等調整前四半期純利益	1,466,631	1,945,519
法人税等	525,858	553,369
四半期純利益	940,773	1,392,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	940,773	1,392,149



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	940,773	1,392,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194,403	568,289
為替換算調整勘定	△195,240	△227,128
退職給付に係る調整額	△4,863	18,750
その他の包括利益合計	△394,506	359,910
四半期包括利益	546,266	1,752,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	546,266	1,752,060
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,581,307	2,333,184	13,914,491	—	13,914,491
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,581,307	2,333,184	13,914,491	—	13,914,491
セグメント利益	881,859	628,798	1,510,658	△338,271	1,172,387

(注) 1. セグメント利益の調整額△338,271千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	薬品事業	建材事業	計		
減損損失	61,355	—	61,355	—	61,355

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,127,687	2,461,874	14,589,561	—	14,589,561
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,127,687	2,461,874	14,589,561	—	14,589,561
セグメント利益	1,566,988	695,187	2,262,176	△392,616	1,869,559

(注) 1. セグメント利益の調整額△392,616千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。